

2020年8月25日

**ブロックチェーンでサプライチェーン・マネジメント (SCM)
の在り方は変わるのか？**

SBI R3 Japan 株式会社

ビジネス開発部長 / Cordaエバンジェリスト

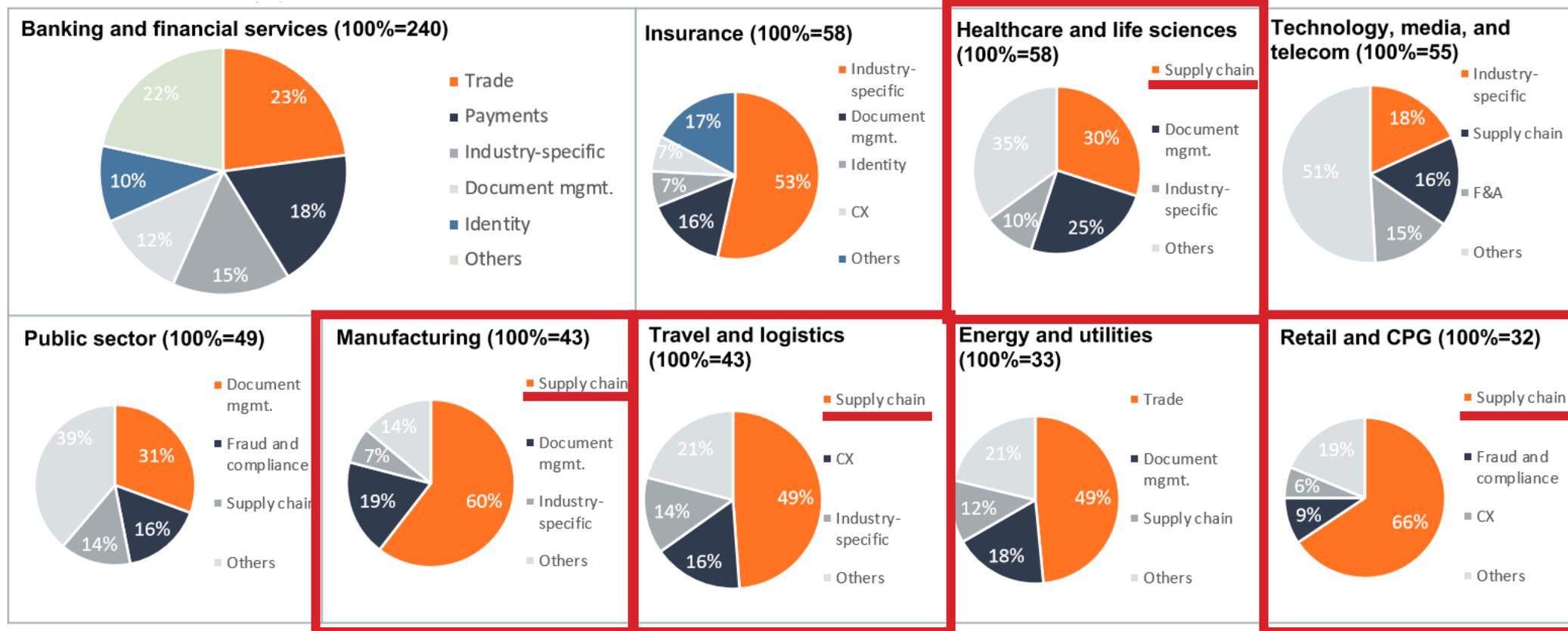
山田 宗俊

目次

1. 2020年、最も注目されているユースケース「サプライチェーン」
2. SCM×ブロックチェーンにおける検討テーマ
3. SCM×ブロックチェーンのソリューションと効用
4. SBI事例 「日本発」農作物のグローバル・サプライチェーン
5. SDGsへの貢献は経済的メリットと両立するか？
6. 頭の体操 コロナのワクチンは公平に配布できるのか？

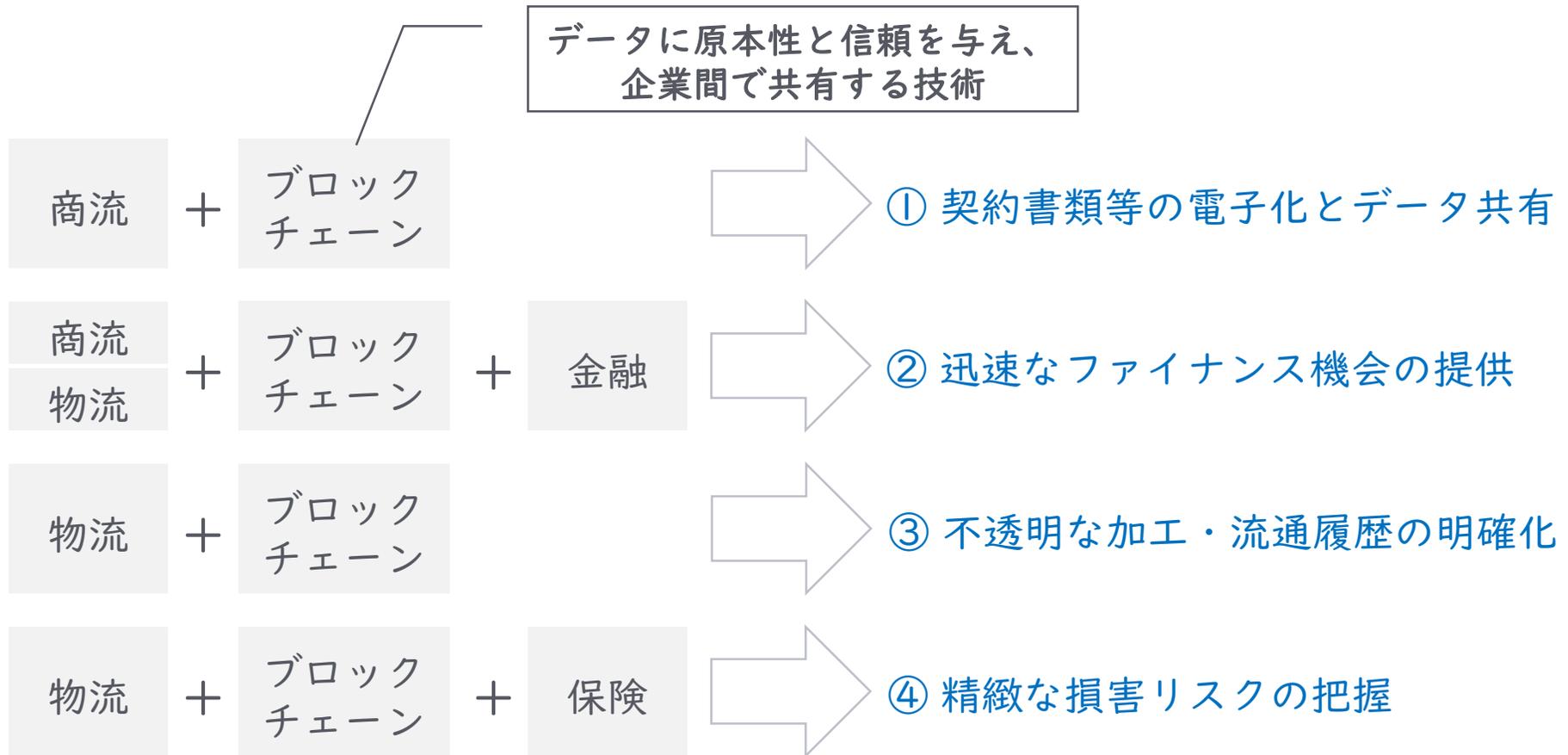
1. 2020年、最も注目されているユースケース「サプライチェーン」

製造業、物流、ヘルスケア、リテール（消費財）の分野において、注目されているユースケースは、サプライチェーンである。



2. SCM×ブロックチェーンにおける検討テーマ

SCMの商流と物流にブロックチェーン、さらに金融や保険を組み合わせることで、企業間で抱える様々な課題を解決できる。



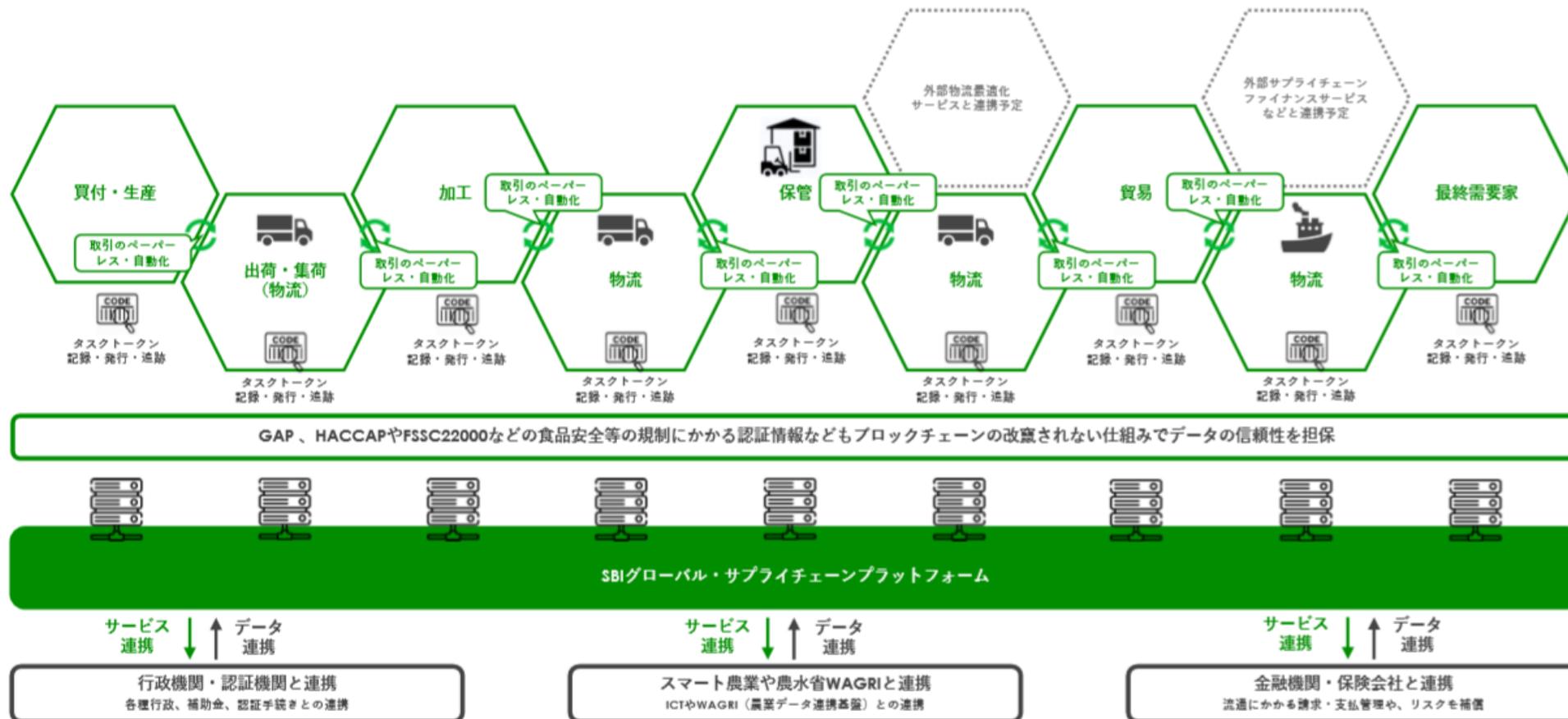
3. SCM×ブロックチェーンのソリューションと効用

ブロックチェーンを活用することで、企業・業界横断で効用を享受できる協業プラットフォームの開発が可能になる。

ソリューション（例）	期待される効用		
✓ グループ企業共通 契約管理アプリの利用	✓ リアルタイム情報連携による 需要変化への迅速対応	✓ 紙を用いた確認に伴う 非効率・ミス排除	
✓ トランザクション レンディング	✓ 信頼できる取引実績に 応じた信用モデル実現	✓ 中小企業に対する新たな 運転資金調達手段の提供	
✓ インベントリー ファイナンス	✓ 在庫の自動トレースと在庫量の変化を用いた 新たな資金調達手段の提供		
✓ サプライチェーン横断 トレーサビリティ	✓ 品質データの 信頼性向上	✓ インシデント発生時 のコストを最小化	✓ SDGs達成 への貢献
✓ ダイナミック プライシング保険	✓ 損害リスクの動的変化を反映した 最適な保険料の設定		

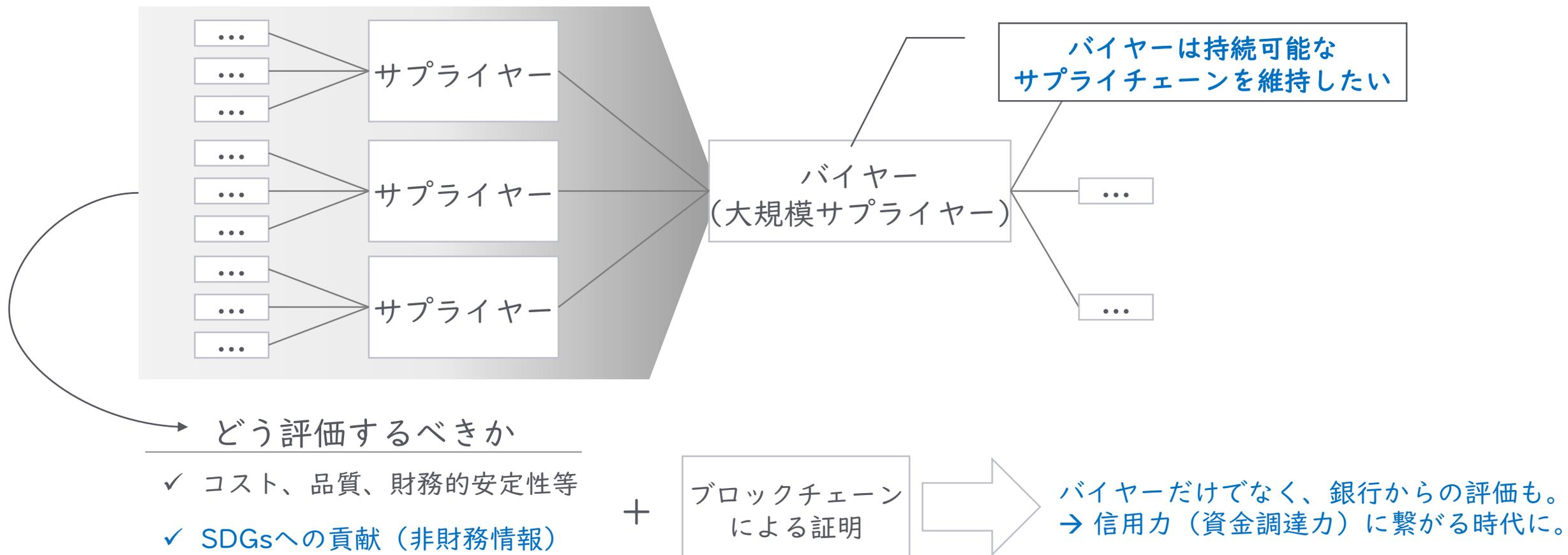
4. SBI事例 「日本発」農作物のグローバル・サプライチェーン

トレーサビリティ（実績）に加え、計画情報も共有。企業横断の予実管理が可能に。サプライチェーン全体をあたかも一つの”仮想的な企業体”のように運営。



5. SDGsへの貢献は経済的メリットと両立するか？

バイヤーがサプライヤーを評価する基準は多様化してきている。サプライヤーによるSDGsへの貢献は、最終的に信用力（資金調達力）に繋がる可能性も。



6. 頭の体操 コロナのワクチンは公平に配布できるのか？

コロナのワクチンが透明性を持って配布されるためには、オープンかつ改ざん不可能、誰にも集中管理されることのないプラットフォームが必要。

ワクチン開発後に起こること

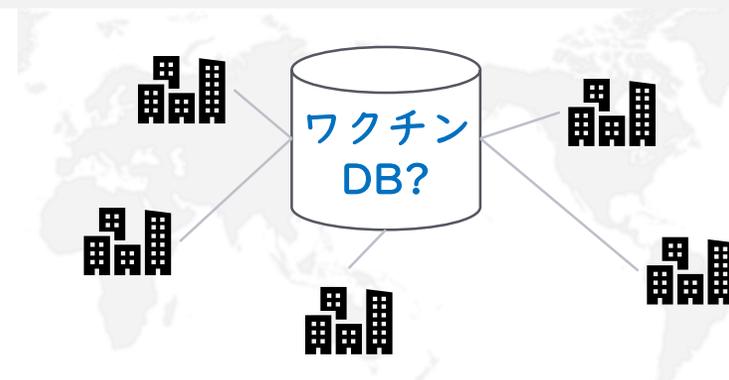
- ✓ 200億人分のワクチンが流通



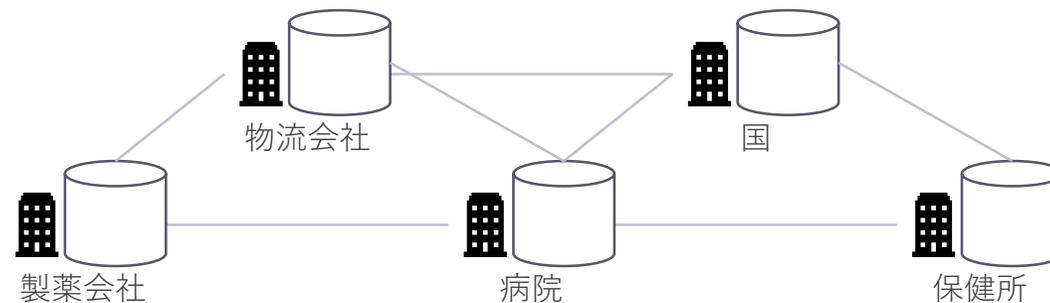
ワクチン配布実施に伴う課題

- ✓ ワクチンの盗難、転売等の不正をどう防止するか？
- ✓ 不正防止を担保する仕組み（データ改ざん防止等）はどう実現するか？

そもそも集中型管理は可能か？



データ連携基盤としてブロックチェーンを活用



ご清聴ありがとうございました。

ご質問等ありましたら弊社までお気軽にお問合せ下さい。

お問い合わせ先：info-srj@sbir3japan.co.jp

FIN/SUM
Blockchain & Business

SBI r3.
Japan